

授業科目

国際福祉論

担当教員名 伊東 正裕	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

授業の概要

この授業では、日本の社会福祉の課題を解決に向けた参考とするために、海外各国の福祉事情について学び、検討する。

授業の目的

この授業では、日本の福祉課題について解決策を探るために、各国の事情に詳しい専門家の講義や、受講生同士の調査報告などを通して、代表的ないくつかの国の社会福祉制度やその背景となる考え方について学ぶ。

学習目標

1. 代表的ないくつかの国の社会福祉の制度や背景となる思想について説明できる。
2. 各自が関心を持つ諸外国の社会福祉制度や福祉事情について調べ、報告することができる。
3. 諸外国の社会福祉制度と日本の制度を比較・検討し、現状と課題、解決策について意見を述べることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義	伊東 正裕
2	デンマークの社会福祉（1）	講義	伊東 正裕、外部講師
3	デンマークの社会福祉（2）	グループ討議	伊東 正裕
4	フィンランドの社会福祉（1）	講義	伊東 正裕、外部講師
5	フィンランドの社会福祉（2）	グループ討議	伊東 正裕
6	ケニアの社会福祉（1）	講義	伊東 正裕、外部講師
7	ケニアの社会福祉（2）	グループ討議	伊東 正裕
8	アメリカの社会福祉（1）	講義	伊東 正裕、外部講師
9	アメリカの社会福祉（2）	グループ討議	伊東 正裕
10	各自のテーマによる調査報告（1）	報告・グループ討議	伊東 正裕
11	各自のテーマによる調査報告（2）	報告・グループ討議	伊東 正裕
12	各自のテーマによる調査報告（3）	報告・グループ討議	伊東 正裕
13	各自のテーマによる調査報告（4）	報告・グループ討議	伊東 正裕
14	各自のテーマによる調査報告（5）	報告・グループ討議	伊東 正裕
15	まとめ：日本の福祉課題の解決に向けて	講義	伊東 正裕

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	使用しない。					
参考書	適宜紹介する。					
その他の資料	適宜プリントを配布する。					

評価方法

課題報告の状況・討議の参加状況・レポート

履修上の留意点

この授業は各国の事情に詳しい専門家に適宜講義を依頼する他、受講者による報告やグループ討議、レポートの作成を重視する。受講者は積極的な態度で参加すること。

外部講師の都合等で授業計画に変更がある場合は事前に連絡するので、注意して欲しい。

オフィスアワー・連絡先

水曜日 15時～17時・masa-ito@nuhw.ac.jp